

「今月の1枚」



ゴジュウカラ （ゴジュウカラ科） *Sitta europaea amurensis*

山地の森林に生息する体長約14 cmの小鳥です。木の幹を歩き回って、樹皮の隙間に隠れている昆虫などを食べます。頭を下にして木の幹にとまることができるのが特徴です。

ゴジュウカラは、世界的にはヨーロッパから東アジアまで、ユーラシア大陸北部などに広く分布し

ますが、日本では、北海道に亜種シロハゴジュウカラ *Sitta europaea asiatica* 、本州、四国、九州北部に亜種ゴジュウカラ *Sitta europaea amurensis* 、九州南部に亜種キュウシュウゴジュウカラ *Sitta europaea roseilia* の3亜種が生息します。

四国では、低山から亜高山帯の森林に亜種ゴジュウカラが留鳥としてみられます。

(写真・文：2013年8月8日 愛媛県宇和島市三本杭・佐藤重穂)

(No.243 2014.2.28 掲載)